

# Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2009  
平成21年

10.15

目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| ぐるりんバスで歴史探訪        | 2  |
| 大草校区               | 4  |
| 学校は今…<br>読書活動の取り組み | 5  |
| たはらシティニュース         | 6  |
| 田原市民活動支援センターのページ   | 7  |
| お知らせ               | 8  |
| 連載コーナー             | 10 |

響きわたる  
幸せの鐘！



# 秋のおでかけプラン ぐるりんバスで歴史探訪

自動車やバスなどの公共交通、自転車、徒歩などをかきこく  
使い分ける生活スタイル「エコモビリティライフ」でも注目され  
ている**ぐるりんバス**。今回は、広報たはらに寄せられた「子ども  
と一緒に出かけられる場所を紹介して」の声にお応えして、  
ぐるりんバスで巡る歴史探訪のコースをご紹介します。



↑(約8分)

## 田原駅 スタート

- 童浦線下りに乗車  
1乗車ごとに100円  
小学生以下は無料

田原の歴史を感じ  
ながら、歩いて移  
動するのがオスス  
メです!

↓徒歩(約10分)

## 図書館下車 中央図書館



- ▶開館時間=火~金曜  
日:午前10時~午後7  
時(木曜日のみ午後8時  
まで) / 土・日・祝日:午前  
10時~午後5時 ▶休  
館日=月曜日(月曜日が  
祝日の場合はその翌日)  
※他に館内整理日あり

蔵書数27万点を誇る図書館です。「地域資料コー  
ナー」を設けて田原市の郷土資料も豊富に取りそろ  
えています。

### 得 情報

読みたい本が貸し出し中の場合は、予約  
することもできます。

☎23局4946

ぐるりんバスに  
乗車(約3分) ↓

## 田原駅 ゴール

## 吉胡台下車 吉胡貝塚資料館 (シェルマよしご)



- ▶開館時間=午前9  
時~午後5時(入館は  
午後4時30分まで)
- ▶休館日=月曜日(月  
曜日が祝日の場合は  
その翌日) ▶入館料  
=一般200円 / 小中  
生100円ほか

吉胡貝塚の人々の暮らしを、貝塚などの模型や写  
真、人骨などの出土品で分かりやすくご紹介してい  
ます。縄文人の人骨出土数が日本一の貝塚です。

### 得 情報

火おこしや勾玉作りなど、さまざまな  
体験学習をご用意しています。

☎22局8060

↓童浦線上りに乗車(約4分)

## 博物館入口下車 田原市博物館



- ▶開館時間=午前9時  
~午後5時(入館は午  
後4時30分まで)
- ▶休館日=月曜日(月  
曜日が祝日の場合はそ  
の翌日) ▶入館料=  
平常時は一般210円  
小中学生100円ほか

幕末の先覚者「渡辺華山」について学べます。11月  
8日(日)まで秋の企画展「能に見る日本の女性像」  
を開催中です。※企画展開催中の入館料は11月8  
日(日)まで一般600円となります(団体割引あり)

### 得 情報

11月8日(日)まで小・中学生は入館無料、  
毎週土曜日は高校生も入館無料です。

☎22局1720

いつもは見慣れた風景も、バスの車窓か  
ら見ると、新鮮に感じられます。この機会  
に、田原の歴史を学び、新たな魅力を発見  
してみてください。

※ぐるりんバスをご利用の際は、時刻表をご確  
認ください。また、体験講座などは、事前予約  
が必要な場合もあります。詳しくは各施設へ  
お問い合わせください。なお各施設は、年末年  
始のお休みや、臨時休館する場合もあります  
のでご了承ください。

## ぐるりんバスってなあに？

平成13年7月から3カ月間の実験運行を実施した後に、平成14年7月21日から4路線で本格運行を開始しました。現在では童浦線、西部線、表浜線、中央線、大久保線、赤羽根線、高松線、中山線の8路線で運行しています。



ぐるりんバスは公共施設利用の促進、環境負荷の軽減、公共交通の空白地帯の解消などを目的としています。できるだけ多くの市民のお役に立ち、皆さんから愛されるコミュニティバスを目指しています。運賃は1乗車100円、小学生以下は無料です。ぐるりんバスで田原をぐるりと回ってみてはいかがでしょうか。



▲ぐるりんバス

●市民協働課 ☎ 23局3504

## がんばる市民

### 豊島町の大念仏踊り

8月23日(日)に、田原文化会館文化ホールで、平成21年度愛知県民俗芸能大会田原市大会が開催され、田原市指定文化財の「豊島大念仏踊り」が披露されました。後継者がなく、一時休止状態となりましたが、平成16年から活動が再開されました。町内の児童や小学校の学芸会にも伝承が進められているこの伝統の踊りが、これからも守られていくことを願います。



▲豊島大念仏踊り

### 広報サポーター カメラリポート

あやしい輝きの  
ヒミツは…



大谷敦子

### \*電照菊の栽培に新風到来！

田原市では、日照時間(太陽に当たる時間)を調節して、花の咲く時期をコントロールする電照菊と呼ばれる菊の栽培方法が盛んです。最近では、この電照菊に赤色や青色の光があることを皆さんはご存知ですか？菊栽培全国トップの田原市では、新しい試みが始まっています。

菊は短日植物で、日照時間が短くなると花を咲かせます。そこで夜に電気を灯し、1日に2回昼がきたように菊に勘違いさせるなどして、出荷の時期を調整しています。これまで、電照菊には白熱灯が利用されてきましたが、耐久性が高いLEDライトが注目され始めています。LEDは特定の光の波長(色)を灯すので、全部の波長を灯す白熱灯よりも消費電力を抑えることができ、CO2の削減にもつながります。主に赤色が使用されていますが、光の色を変えることによる成長への様々な効果も期待されています。初期投資が高く、利益が出るのに時間がかかるなどの課題もありますが、日々実験を繰り返して頑張っている方々がいいます。今後の活動に、期待したいと思います。



▲昼間の温室



▲電照中の温室

## 大草



●表浜海岸

## 基礎データ

【人口】1,329人(H21.8.31現在)  
 【世帯】361世帯(H21.8.31現在)  
 【面積】約347ha  
 【公共施設】大草保育園・大草小学校  
 【史跡】惣作古窯跡群・一色七郎墓跡・御園遺跡  
 【主な産業】農業

## 校区の概要

大草校区は、市南東部の太平洋側に位置し、田園地帯の広がる自然豊かな、古くからの農漁村地帯で、二つの地区で構成されています。大草地区は、大草東・大草西・半身・大草志田の4集落があり、主に専業農家が多い地区です。一方の大草団地地区は、昭和40年代に造成された住宅団地です。保育園と小学校が1つずつあり、地域全体の結びつきが深く、校区民全体での活動を盛んに行っています。国道42号沿いの農地では、夏はメロン、冬はキャベツを中心として、電照菊・トマト・セロリ・ブロッコリーなどの野菜を作っています。

●キャベツ畑



表浜海岸では、地引き網でイワシ、サバなどの漁獲を楽しむことが出来ます。また、太平洋の波を求めるサーファーが、年間を通してこの地を訪れています。

## 半身神明社のお神楽

古くから新明社秋の大祭(10月11日)で「お神楽」が奉納され、地域の安全と豊作が祈願されてきまし

た。一時、青年会員の減少により、奉納が中止されましたが、伝統芸能が廃れることを危惧した青年会のOBや有志により、本年から「お神楽」が復活しました。



●地域で愛されるお神楽

ながらみづか  
半身塚

半身地区には半身塚といわれる塚があります。一説では、疫病がはやったとき、それを仏に祈ってくれた法印様を葬った法印塚であるといわれています。また、塚の周辺は半身塚遊園地として指定されており、国道42号から大草海岸に至る道路の両脇には桜が植えられ、昭和40年ごろには、満開の桜が一面に咲き誇りました。現在は、数本残っているのみですが、都会からのサーファーたちを静かに見守っています。

## 大草の歴史をひもとく

大草には、弥生時代の「御園遺跡」があり、遠い昔から人々の生活の場であった事を伺い知ることができます。こうした古くからの人々

の営みは、平安時代後期の「惣作古窯」に、とても興味深い形で残されています。

やもめなど ながもふ恵  
こつびには そっとあわせよ  
さ、で うるふやも

これは、惣作古窯から出土した碗に刻まれた「ざれ歌(ユーモラスな和歌)」で、男女の赤裸々な情愛が歌われているものです。全国でも珍しく、貴重な文化財です。



●惣作古窯跡の句碑

また、大草の歴史で忘れてならないのが、室町時代に渥美郡の領主だった「一色七郎」です。一色七郎は、応仁の乱(1467年)に出陣した後、大草で隠居。死後、田原城主・戸田宗光により、菩提のため「宝幢寺」が邸宅跡に建てられました。現在は廃寺していますが、地元有志による「大草の歴史と文化を学ぶ会」が中心となり、寺跡の整備を行うなど、郷土の歴史を語り継ぐ取り組みを行っています。



●一色七郎邸跡



# 学校は、今...

SCHOOL REPORT 16

読書活動の取り組み

子どもたちが本に親しめるように、朝の読書を行っている小中学校もたくさんあります。今回は、各学校をまわる巡回司書や読書集会についてお知らせします。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

## 巡回司書とつくる読書空間(田原中部小学校)

田原中部小学校の図書室は2階にあります。天候に関係なくたくさんのお客さんが訪れます。巡回司書の橋本先生のアイデアで、部屋はいつも季節感にあふれています。今年6月、折り紙の大きなアジサイを窓に飾ったときには、「カタツムリを折りたい!」という声があり、子どもたちと一緒にカタツムリを折って飾りました。

今回、紹介したいのは「予約カード」です。貸出中の本や学級文庫にある本を読みたい時に使います。巡回司書が予約された本を探し、子どもに手渡すと笑顔になります。子どもたちが、予約した本を心待ちにしていたことがわかります。読みたい本の傾向も探ることができ、読書に親しむ活動の一助になっていることを実感しています。



▲図書室に飾られたアジサイとカタツムリ(上)  
予約の本を取りに来た子どもたち(下)  
◀予約カード(左)



▲巡回司書の小久保先生の読み聞かせ(上)  
昨年の図書集会の様子(右)▶

## あじさい読書月間と図書集会(中山小学校)

中山小学校では、年間3回の読書月間を設けて全校で読書活動に取り組んでいます。

今年6月、「あじさい読書月間」では、楽しく何度も図書室を利用できるようにと、来室ごとにくじを引き「あ」「じ」「さ」「い」の文字を集めると記念のカードがもらえるようにしたり、図書クイズを用意したりするなど、図書委員が工夫をこらしました。また、巡回司書の小久保先生やPTA、ボランティアの方による読み聞かせを行いました。子どもたちは「次はどんな本かな」「このお話は知っているよ」と毎回楽しみにしていて、夢中でお話を聞いていました。

昨年の図書集会では、先生が小さいころに読んだ本やお勧めの本を紹介しました。「私も読んでみたい」と言って図書室に本を借りに来た子どもが、「面白かったよ」と感想を言ってくれるなど、読書の幅が広がってきているようです。





▲まつり会館前に集結した萱町(左)・新町(中)・本町(右)の昼山車

9月19日(土)

歴史を伝える  
秋の祭り

田原祭りが、9月19日(土)・20日(日)に開催されました。初日は、新町・本町・萱町の3台のからくり山車が街を練り歩き、夜には巴江・衣笠を加えた5台の夜山車の上で、子どもなどが手踊りを披露。2日目の打ち上げ花火は、盛り上がった祭りのフィナーレを飾りました。

## 田原のみなさん、こんにちは。 私たちは英語指導助手(ALT)です！

市内の小中学校で英語を教えているALTをご紹介します。ALTは子どもたちが外国文化に触れ、国際理解を深めることにも大きな役割を果たしています。



田原でALTとして働き続けられることに喜びを感じます。  
普段は、日本語を勉強したり、習字や生け花を習ったりしています。

ヴァネッサ・シェパード Vanessa Shepherd  
▶ 泉中・亀山小・赤羽根小・神戸小・衣笠小・清田小・童浦小 (H18年8月～)



田原での生活を送ること、みなさんに英語を教えることをうれしく思います。  
歌うことが好きで、コーラスサークルで歌っています。

ジェニファー・ケネディー Jennifer Kennedy  
▶ 東部中・田原中・大草小・田原東部小・高松小 (H19年11月～)



日本で1年間の留学を経験し、たくさんの友達できました。  
とてもきれいなこの街でも大勢の友達をつくりたいと思います。

シャノン・ルーカス Shannon Lucas  
▶ 野田中・福江中・野田小・福江小・田原南部小・六連小 (H21年9月～)



これまでに3回来日し、いろいろな所へ行きました。  
カラオケやスポーツ観戦が好きで、日本のプロ野球の試合を見たいと思っています。

テイラー・トラスラー Taylor Trusler  
▶ 赤羽根中・伊良湖中・若戸小・和地小・掘切小・伊良湖小・中山小・田原中部小 (H21年9月～)



# 田原市民活動支援センターのページ

## くぬぎの会って何しているの?

1993年4月1日、子育てをしながら絵本を楽しむお母さんたちが「母親クラブ・くぬぎの会」を作りました。以来、『おはなし会』や『リズムあそび(就園前の親子対象)』を開き、子どもと一緒に楽しい時間を過ごしてきました。

田原市中央図書館ができてからは、図書館のおはなしのへやで毎月2回おはなし会を行っています。保育園や小学校への出張おはなし会や、時にはゲストを呼んでの勉強会、いろいろな人形劇の人形づくりや紙芝居づくりもしています。

くぬぎの会は随時会員を募集中です。

**くぬぎの会** 代表 尾崎いづみ 連絡先 Tel (0531)22-6693

毎月1回「くぬぎだより」を発行しています。田原文化会館フリースペースなどで配布中!

### 図書館でのおはなし会

毎月第1土曜 午後3時～  
毎月第3火曜 午前10時～



### おやこリズム

毎月第4木曜日  
午前10時～  
(童浦市民館にて)

11/4  
(水)

## WATOTO(ワトト)が東部中学校へ

WATOTOとは、スワヒリ語で「子どもたち」という意味です。ワトトの子どもたちは、歌や踊りを通してアフリカの子どもたちの希望のメッセージを世界中に届けるということをしています。

ワトトのメンバーは皆エイズや戦争などで親を失った子どもたちばかりです。その子どもたちが、東部中学校にやって来てミニコンサートを行い、交流をします(11月4日(水) 11:30～)。あなたもぜひご参加下さい。

⇒ どなたでもご参加いただけます。当日、直接会場へお越しください(無料)。



## 助成金・補助金情報

市民活動を行うために、さまざまな補助や助成があります。ここではタイムリーな助成金情報を掲載。

| 助成事業名             | 内容や対象など                       | 申請期日     | 申し込み・問合せ  |
|-------------------|-------------------------------|----------|---|
| 第14回 キリン福祉財団公募助成  | 地域における子育てに関わるボランティア活動         | 11/9(月)  | キリン福祉財団<br><a href="http://www.kirin.co.jp/foundation/">http://www.kirin.co.jp/foundation/</a>                    |
| 平成22年度 河川環境基金助成事業 | 河川への理解を深めるためにNPO法人などが行う啓発活動など | 11/30(月) | 河川環境管理財団<br><a href="http://www.kasen.or.jp/joseiboshu22/n22.htm">http://www.kasen.or.jp/joseiboshu22/n22.htm</a> |

## 今後の市民活動ニュース

| 日時                              | 内容                            | 会場ほか  | 連絡先  |
|---------------------------------|-------------------------------|---|--|
| 11/21(土)<br>12:30受付/<br>13:30開始 | 第2回 田原市検定<br>主催/NPO法人たはら本舗    | 田原文化会館、渥美文化会館<br>定員:先着 200名(両会場合計)<br>検定料:一般・高校生 1,000円/小中学生 500円 | 田原市教育委員会 生涯学習課<br>Tel (0531)23-3531<br>Fax (0531)22-3811     |
| 11/22(日)<br>14:00~              | 第2回あつみロビーコンサート<br>~ピアノとお箏の演奏~ | 渥美文化会館 ラウンジ<br>参加費:500円(ドリンク付)<br>シーズンチケット 2,000円(5回分)            | あつみロビーコンサート事務局<br>Tel/Fax (0531)32-3963<br>Tel 090-4213-0596 |

通年

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています(毎週金・土・日午後2~7時、田原文化会館フリースペース)。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です! \*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 市役所市民協働課 TEL: 0531-23-3504 FAX: 0531-23-0180 Email: [kyoudou@city.tahara.aichi.jp](mailto:kyoudou@city.tahara.aichi.jp)  
紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター





# 募集

WANTED

## 田原市立小・中学校 常勤・非常勤講師

▼応募資格 ① 次の①②の条件を満たす方  
① 子どもが好きで学校教育に熱心に取り組むことができる方  
② 教員免許所持者（採用時に取得見込みの方も可）  
▼応募期間 随時

▼申し込み 顔写真貼付の履歴書に必要事項を記入のうえ直接または郵送にて

▼学校教育課

〒441-3492 住所不要

☎ 23局 3679 FAX 22局 3811



## 「まちづくり講座」 地区推進大会

すべての教育の出発点でもある家庭教育について考えるよい機会です。皆さん、ぜひご参加ください。

▼日時 11月14日（土）午後0時30分～  
▼会場 田原文化会館  
▼参加費 無料

### アトラクション

▼内容 田原中部小学校合唱  
▼時間 午後0時30分～  
▼場所 文化ホール

### 家庭教育を考える学習会

▼対象 小中学生の保護者と家庭教育に関心のある方  
▼内容・時間

① 実践発表「蒲郡市家庭教育推進協議会」・午後1時30分～  
② 講演「元気父ちゃん、元気母ちゃんが子どもの未来を築く！」講師：こころ元気

研究所所長 鎌田敏さん・午後2時15分～  
▼場所 文化ホール

### 子育て支援を考える交流会

子育てでネットワーカーとの交流で、子どもと一緒に遊ぶアイデアが満載です。

▼対象 親子と子育てに関心のある方  
※親子で参加可  
▼内容・時間

① 工作・おやつ作り・作品展示（アトリエ）・午後1時30分～  
② 読み

聞かせ（音楽練習室）・午後2時15分～  
③ 親子体操（多目的ホール）  
午後2時45分～  
④ みんなで遊ぼう（多目的ホール）  
午後3時30分～  
▼生涯学習課  
☎ 23局 3531 FAX 22局 3811

## 豊橋市食育体験講座 ホテルで味わう豊橋・田原の旬

旬の食材を活かした地産地消ランチをいただきながら、シェフや生産者の方からお話を伺います。

▼対象 田原市または豊橋市にお住まいの方  
▼日時 11月25日（水）  
正午～午後2時  
▼場所 ホテルアークリッシュ豊橋（豊橋市駅前大通り1丁目）  
▼講師 ホテル総料理長 酒井敦さん／生産農家さん

▼定員 25名（申込多数の場合は抽選）  
▼参加料 3500円（食事代含む）  
▼申し込み 11月12日（木）までに電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合住所・氏名・電話番号を明記）

▼豊橋市役所農政課内  
〒440-8501 住所不要  
☎ (0532) 51局 2471  
FAX (0532) 56局 5130

☎ nosei@city.toyohashi.jp

## パブリックコメント 意見募集！

パブリックコメント手続制度に基づき、以下の案件について意見を募集します。



### ●「健康たはら21計画」中間評価案について

募集期間 ▶ 11月9日（月）～12月8日（火）

健康たはら21計画は、「みんなが幸せを感じて暮らせるまち」をめざし、市民一人ひとりが健康づくりに取り組むための計画で、今後5年間の計画を策定します。

担当課 ▶ 健康課 ☎ 23局 3515 FAX 23局 3810

☒ kenko@city.tahara.aichi.jp

### 意見提出方法

① 公表場所へ持参 ② 郵便 ③ FAX ④ Eメール

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、意見を提出してください。（個々の意見には直接回答いたしません。）

### 計画案の公表場所

市役所健康課、赤羽根市民センター（旧赤羽根支所）、渥美支所市民生活課、中央図書館、市ホームページ（<http://www.city.tahara.aichi.jp>）

## ナイター硬式テニス大会 団体戦

気軽に参加してテニスを楽しんでみませんか。

- ▼日時 11月22日(日) 午後5時～10時
- ▼場所 緑が浜公園テニスコート
- ▼内容 4チームによるリーグ戦
- ▼定員 4チーム(1チーム男子ダブルスと女子ダブルス各1ペア) ※先着順
- ▼参加料 1チーム6000円
- ▼申し込み 緑が浜公園センターハウスへ直接
- ▼緑が浜公園センターハウス 23局2663

# 生活

LINE

## 国民健康保険出産一時金が38万円から42万円に改正

国民健康保険の被保険者が出産するときに支給される出産育児一時金が、10月から平成23年3月までの間、緊急の少子化対策として現行の38万円から原則42万円に引き上げられました。(産科医療制度加入分娩機関での22週以上の出産に限る/それ以外については39万円)



## 仕事と住宅を失った方に対する新しい支援が始まりました

急激な経済情勢の悪化により、仕事と住居を失った(もしくは失うおそれのある)方を支援するため10月から始まりました。

### ●住宅手当緊急特別措置事業

離職者が就職活動を行うために必要な、安定した住居を確保するため、アパートなどの住宅費を給付します。

- ▼支給額 上限を3万6000円とした実費(単身世帯の場合)
- ▼支給期間 6カ月以内
- ▼支給要件 次の①～③全ての要件を満たす者
- ①原則収入なし
- ②預貯金が一定額以内
- ③就職に向けた活動を行って

いる ▼支給方法 支給要件を満たす方の申請により、住宅貸主などの口座に直接振込み

- ▼受付実施期間 平成22年3月まで
- ▼福祉課 23局3512 FAX 23局3545

## 法の日記念行事 無料法律相談・記念講演会

### ◆無料法律相談

- ▼日時 10月31日(土) 午後1時～3時
- ▼場所 豊橋商工会議所

### ◆記念講演会

- ▼日時 10月31日(土) 午後3時～
- ▼場所 豊橋商工会議所
- ▼テーマ 「変化する時代の今、社会に求められているものは？」
- ▼講師 森永卓郎氏(獨協大学教授・経済アナリスト)
- ▼定員 200名
- ▼参加料 無料
- ▼愛知県弁護士会東三河支部 (0532)52局5946

## 地上デジタル放送の簡易チューナーを給付します

総務省では、経済的な理由などで地上デジタルが見られない世帯に対して、簡易なチューナーを無償給付するなどの支援を行います。

- ▼対象 NHK受信料全額免除世帯
- ▼申し込み 12月28日(月) までに

NHKから送付された全額免除証明書に同封された申込書に記入し返送

●総務省地デジチューナー支援  
実施センター  
☎(0570)03局3840

※申し込みの際は、事前にNHK放送受信料全額免除申請が必要です。対象となるのは生活保護世帯、市民税非課税世帯で障害者のいる世帯、社会福祉事業施設入所者の方です。該当する方で、まだNHK受信料免除申請をしていない方は、お早めにご手続きをお願いします。

- ▼福祉課 23局4654 FAX 23局3545

## 11/8 自主防災会の一斉防災訓練を行います(日)

市内各地区において、自主防災会による一斉防災訓練を行います。この機会に、非常持出袋の中身をチェックするなど災害に備えましょう。

- 【時間】 午前7時～9時  
※地区によって異なる場合があります

- 【場所】 各地区の集会所や避難場所など  
※雨天でも実施します



# 広がる未来へ

\*たはらエコ・ガーデンシティ構想

42

## ●美しい渥美半島に②

### ◆全国菜の花サミットin田原に 向けて菜の花の種まき開始

10月中旬から、保育園・幼稚園児、小中学生による観賞用菜の花の種まきが始まります。その後は、11月下旬まで搾油用の菜の花の種まきが行われる予定です。



▲昨年の種まきの様子

平成22年2月6日(土)・7日(日)に開催する「全国菜の花サミットin田原」に向け、市の玄関口を菜の花で飾ろうと、NPOや事業者の方々と種まきを進めています。新たに種まきを実施する場所は、豊橋鉄道渥

美線のやくま台駅周辺や谷熊町地内(国道259号沿い)、緑が浜信号周辺です。



(9月25日)

▲今秋、新たに種まきを実施した谷熊町の作業風景

さらに、多くの市民の方に菜の花の種をまいていただこうと、菜の花の小袋をエコエネ推進室にて配布しています。皆さんもこの機会に、菜の花の種をまいてみませんか。

美しい渥美半島を、みんなの手で。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数  
個人4,266人・事業所20か所(9月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



## 省資源とリサイクル

18

4月1日から始まった「レジ袋の有料化」は、市内15店舗で実施されています。今回は、レジ袋の受け取り辞退率や使用量減少による効果についてお知らせします。

### レジ袋の受け取り辞退率と効果

有料化されたことで、レジ袋を受け取らず、マイバッグを使って買い物をする人が増えています。

#### ■レジ袋辞退率

◎88.6%

#### ■削減されたレジ袋枚数

◎149万6947枚

#### ■削減されたレジ袋重量

◎1万4819kg(1枚/9.0g換算)

#### ■削減されたCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の排出量

◎89t

※いずれも参加店舗全体の4～6月実績に基づくデータ

レジ袋の受け取りを1枚辞退すると、CO<sub>2</sub>が約60g削減できます。



### レジ袋の削減にご協力を!

- 買い物には、マイバッグ・マイバスケットを持参しましょう。
- 少ない買い物の際は、レジ袋を断りましょう。
- 毎回レジ袋を受け取りず、繰り返し使いましょう。



レジ袋を受け取らないことは、ごみの減量化とCO<sub>2</sub>削減につながります。お気に入りのマイバッグを手に、地球に優しい買い物をしてみてはいかがでしょうか。

▼清掃管理課  
☎23局35508  
FAX23局0180



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

# 交流通信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7

## 田原市と姉妹都市・設楽町の交流拠点施設〜つぐ高原ペンション「グリーンメッセージ」〜

秋は紅葉狩りやトレッキング、冬は天体観測や雪遊びが楽しめるグリーンパーク内に建つペンション「グリーンメッセージ」。田原市在住・在勤の方が対象のお得な割引制度を使って宿泊し、季節を感じる旅に出かけてみませんか。

### ●紅葉狩りに行こう！

グリーンパークでも紅葉を楽しめますが、車で10分以内にある、お勤めの紅葉狩りスポットをご紹介します。



※見ごろ=10月中旬～11月上旬

#### ■茶臼山高原周遊コース

茶臼山はぎたろうと萩太郎山の頂上を約2時間で巡るコース。愛知県の最高峰から眺める景色は最高！

#### ■天狗棚・面ノ木原生林周遊コース

面ノ木ビジターセンターから天狗棚にかけてのコース。原生林の森林浴が満喫できます。

1日頑張って歩いたら、グリーンメッセージで体をゆとり休めましょう。

### ●交流スタンプラリーにチャレンジ！

グリーンメッセージにお出かけの際は、「グリーンパーク」もラリースポットになっている「田原市・設楽町交流スタンプラリー」に参加しませんか。

設楽町のラリースポットにあるスタンプを集めて応募すると、抽選ですてきな賞品が当たります。応募用紙は市役所、渥美支所、赤羽根市民センターなどで配布しています。



▲面ノ木ビジターセンター  
ラリースポットのひとつで、グリーンメッセージから車で10分ほどで到着します

※グリーンメッセージの詳細は、ホームページをご覧ください。  
<http://www3.rak-rak.ne.jp/~green-message/>  
 ☎ (0536) 83局2343

忍びよる巨大地震

かんちゃん

## 防災まめ知識

53

いざというときの応急手当 ② 骨折部位の固定



こんにちは、かんちゃんです。前回から、ケガなどをして、シリーズでご紹介しています。今回は、「骨折部位の固定」です。

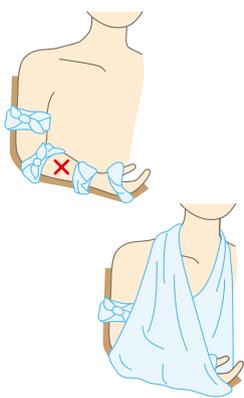
一般的に、骨折している部位は出血していたり腫れていたりすることが多く、動くことで痛みを感じます。

### ■骨折の部位を確認

- ①どこが痛いか確認します。
- ②出血の有無を確認します。

### ■骨折部位の固定

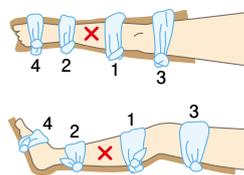
①副木を上腕から指先まで当て、三角巾やタオルなどで固定し、吊り下げます。



②副木の代わりに雑誌を利用した場合、雑誌で骨折部位を覆います。

### ●下腿の固定

●脚の内側と外側、裏側に副木を当て、骨折した足を挟むようにして三角巾やタオルなどで図中の番号順に固定します。



### ◎ポイント

- ①痛みを感じる部位を動かさない。
  - ②骨折の疑いがある場合は、骨折したものととして手当てを行う。
  - ③ケガ人に声をかけてから固定する。
  - ④飛び出た骨端は無理に戻さない。
- 副木として代用できるもの
- ・新聞紙、傘、ものさし、座布団、段ボールなど

▼防災対策課 ☎ 23局3548

# 歴史探訪

## クラブ

其の  
103



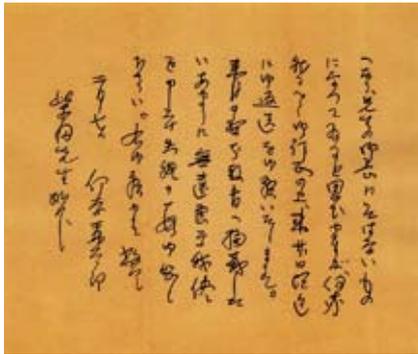
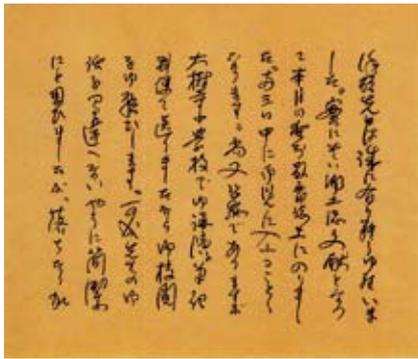
History Inquiry Club

文化財課 ☎23局 3635

FAX 22局 3811

### 伊奈森太郎もうひとつの顔 愛知県の文化財保護の星

伊奈森太郎（1883～1961）  
は、大久保町の農家の長男として生



▲昭和8年 伊奈森太郎が書いた  
柴田常恵あての手紙

まれ、26歳で田原中部小学校の前身である、田原尋常小学校の校長を勤めました。教育者としての伊奈の功績は、小学校を地域の教育の場として、学校や家庭、地域住民にまで啓発や指導にあたったことです。現在も田原中部小学校で続いているPTA紙『家庭と学校』は、伊奈の在任中は、ほとんど彼が執筆しました。誰が読んでも分かりやすく、伊奈の教育理念が集約されている内容といえます。また伊奈は、田原に関する人物や史跡の紹介を意欲的に進め、郷土学習の手本に渡辺華山を模範的人物として勧めています。田原中部小学校の華山劇で知られている「立志」は、伊奈が脚本を書いたものです。

昭和6年に退職した伊奈は、愛知

県教育史の担当となりまし  
た。愛知  
県全域で  
資料集め  
を行い、  
考古や歴  
史、民俗、  
民話、歴

史、美術の分野の調査成果を報告しています。このような伊奈の多方面におよぶ文化財の造詣の深さは、大正12年に刊行した『渥美郡史』の編纂の際に指導を受けた、内務省の柴田常恵から得たものでしょう。柴田は戦前における日本の文化財保護行政を先導した人物で、考古学や仏教史、郷土史などにも研究成果を残しています。

伊奈は昭和20年、愛知県史跡名勝保存主事となりました。愛知県の第一人者として文化財保護に尽力した



▲昭和26年 古胡貝塚調査時の伊奈(前列右)

伊奈。文化財保護などの功績により愛知県や国からも多くの表彰を受けていますが、古胡貝塚の国の発掘や国の指定に、彼の力が大きく働いていたことは知られていません。

伊奈の著書には、渡辺華山、岡田虎二郎に関するものをはじめ、『名古屋と民謡』『郷土民謡風土記』『愛知県現存若い者文獻集』『愛知県地方の古歌謡』『尾張の祭』『三河のお祭』などがあります。現在では、このように幅広い分野に明るい研究者はいないでしょう。文化財保護の功績が田原で語られることはあまりありませんが、愛知県の文化財保護の歴史の中でその功績は光り輝いています。

(増山)

### 今月の「表紙」

▼浜松モザイカルチャー世界博が、はままつフラ  
ワーパークで11月23日  
(月・祝)まで開催されています。

ここに出版されている、恋人の聖地をイメージした田原市の作品には、幸せの鐘を鳴らそうと並ぶ人の列が……。鐘の音が響きわたる世界博へ、皆さんもぜひ足を運んでみてくださいね。(O)

「表紙の写真」浜松モザイカルチャー世界博